

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月27日

上場会社名 株式会社 アトム
 コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

(氏名) 植田 剛史
 (氏名) 太田 一義

TEL 052-249-5225

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	31,614	—	1,662	—	1,611	—	582	—
21年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	3.13	2.95
21年3月期第3四半期	—	—

(注)当第3四半期は、前第3四半期において連結財務諸表を作成していないため、連結経営成績及び連結財政状態については、前第3四半期との対比は行っておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	30,227	9,586	31.7	26.93
21年3月期	30,520	8,940	29.3	23.23

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 9,586百万円 21年3月期 8,940百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,480	74.3	2,100	370.0	1,960	270.4	2,488	—	14.49

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 168,469,955株 21年3月期 168,469,955株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 466,747株 21年3月期 2,465,858株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 166,221,621株 21年3月期第3四半期 36,140,251株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心に輸出は増加し生産は持ち直しているものの、依然、企業収益は減少傾向が続いており、設備投資の減少、雇用情勢の悪化、個人消費の縮小等により、厳しい環境が続いております。

外食産業におきましても、個人消費の縮小傾向が一段と鮮明となり、厳しい経営環境となっております。

このような状況の中、当社は当第3四半期連結累計期間において新店を10店舗オープンし、平成21年3月に吸収合併したジクトの主要業態である「ステーキ宮」の店舗数を業態変更により5店舗増加するとともに、不採算店舗37店舗（直営店34店舗、F C店3店舗）の閉鎖を行い、収益改善を進めました。

各事業部門の概要は以下の通りです。

①すし部門

新規出店につきましては直営店1店舗（「海へ」）の出店を行いました。

改装につきましては直営店2店舗（「海鮮アトムボーイ」2店舗）を行いました。

閉店につきましては直営店6店舗（「にぎりの徳兵衛」5店舗、「廻転アトムボーイ」1店舗）を行いました。

この結果店舗数につきましては83店舗（直営店66店舗、F C店17店舗）となり当第3四半期連結累計期間における売上高は64億78百万円となりました。

②レストラン部門

新規出店につきましては直営店9店舗（「ステーキ宮」2店舗、「甘太郎」2店舗、「NIJYU-MARU」1店舗、「いろはにほへと」1店舗、「ラパウザ」1店舗、「ウィルビー」1店舗、「時遊館」1店舗）の出店を行いました。

業態変更につきましては直営店6店舗（「M's ダイニング」から「ステーキ宮」へ1店舗、「炭火ダイニング暖」より「ステーキ宮」へ1店舗、「寧々家」から「ステーキ宮」へ1店舗、「ラ・アモーレ」より「ステーキ宮」へ2店舗、「にぎりの徳兵衛」から「濱ふうふう」へ1店舗）を行いました。

またF C店から直営店への異動が1店舗（「えちぜん」）ありました。

改装につきましては、直営店10店舗（「ステーキ宮」2店舗、「カルビ大将」3店舗、「韓の食卓」1店舗、「味のがんこ炎」1店舗、「最真屋」1店舗、「時遊館」2店舗）を行いました。

閉店につきましては直営店26店舗（「えちぜん」3店舗、「濱ふうふう」4店舗、「ラ・アモーレ」1店舗、「四天王」3店舗、「カルビ大将」2店舗、「がんこ亭」2店舗、「ウィルビー」2店舗、「フリークス」2店舗、「かつ時」1店舗、「旨いもん屋」1店舗、「天ぶらときわ」1店舗、「居食ダイニング暖」2店舗、「和処ダイニング暖や」1店舗、「M's ダイニング」1店舗）、F C店3店舗（「北海道楽」1店舗、「がんこ炎」1店舗、「かつ時」1店舗）の閉店を行いました。

この結果、店舗数につきましては338店舗（直営店327店舗、F C店11店舗）となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は243億99百万円となりました。

③その他の部門

新規出店、業態変更及び改装はありません。

閉店につきましては、直営店2店舗（「創夢館」2店舗）を行いました。

この結果、店舗数につきましては4店舗（直営店3店舗、F C店1店舗）となり、当第3四半期連結累計期間における「その他」の売上高は7億37百万円となりました。

以上の結果、店舗数につきましては合計425店舗（直営店396店舗、F C店29店舗）となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は316億14百万円、営業利益は16億62百万円、経常利益は16億11百万円、当期利益は5億82百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計期間末に比べ2億92百万円減少し、302億27百万円となりました。これは主に店舗閉鎖に伴う敷金保証金の返還及び解約によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ9億38百万円減少の206億41百万円となりました。これは主に借入金の返済、未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億45百万円増加の95億86百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加

によるものであります。その結果、自己資本比率は、31.7%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は34億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億49百万円増加致しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は22億12百万円となりました。

これは主に、減価償却費の計上（13億23百万円）、固定資産除却損の計上（4億57百万円）及び利息の支払額（2億52百万円）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11億56百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出（13億74百万円）、敷金保証金の差入による支出（1億35百万円）及び敷金保証金の回収による収入（5億24百万円）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は9億6百万円となりました。

これは主に、短期借入れによる収入（25億52百万円）、長期借入れによる収入（8億20百万円）、短期借入金の返済による支出（13億90百万円）及び長期借入金の返済による支出（28億68百万円）によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年7月28日に公表いたしました連結業績予想から通期の修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積額の算定方法

当第3四半期連結累計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、一般債権の貸倒見積高につきましては、前連結会計年度末で用いた貸倒実績率を使用しております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,407,322	3,277,939
売掛金	478,316	407,979
たな卸資産	452,917	359,549
その他	1,417,116	1,454,851
貸倒引当金	△1,131	△661
流動資産合計	5,754,542	5,499,657
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,480,058	10,807,521
土地	4,364,998	4,364,998
その他(純額)	2,352,535	2,061,758
有形固定資産合計	17,197,592	17,234,277
無形固定資産		
	168,836	170,203
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,978,012	6,436,390
その他	1,368,361	1,428,346
貸倒引当金	△239,465	△248,674
投資その他の資産合計	7,106,909	7,616,062
固定資産合計	24,473,338	25,020,543
資産合計	30,227,880	30,520,201
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,492,628	2,315,208
1年内償還予定の社債	687,000	32,000
1年内償還予定の転換社債	500,000	—
短期借入金	1,504,800	342,830
1年内返済予定の長期借入金	3,439,810	3,966,552
未払法人税等	163,737	247,741
引当金	256,770	259,742
その他	2,383,880	2,457,665
流動負債合計	11,428,628	9,621,740
固定負債		
社債	—	671,000
転換社債型新株予約権付社債	2,200,000	2,700,000
長期借入金	5,190,399	6,712,584
引当金	25,420	29,940
その他	1,796,629	1,843,952
固定負債合計	9,212,448	11,957,476

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債合計	20,641,076	21,579,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,973,273	2,973,273
資本剰余金	6,016,614	6,384,346
利益剰余金	1,207,576	926,135
自己株式	△187,437	△990,388
株主資本合計	10,010,027	9,293,366
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△371,188	△297,879
繰延ヘッジ損益	△52,035	△54,502
評価・換算差額等合計	△423,223	△352,382
純資産合計	9,586,803	8,940,984
負債純資産合計	30,227,880	30,520,201

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	31,614,941
売上原価	10,412,209
売上総利益	21,202,731
販売費及び一般管理費	19,540,597
営業利益	1,662,133
営業外収益	
不動産賃貸収入	413,919
その他	126,902
営業外収益合計	540,821
営業外費用	
支払利息	246,106
不動産賃貸原価	309,615
その他	35,761
営業外費用合計	591,483
経常利益	1,611,472
特別利益	
固定資産売却益	14,305
債務保証損失引当金戻入額	4,520
貸倒引当金戻入額	10,046
特別利益合計	28,872
特別損失	
固定資産除却損	457,850
減損損失	185,971
店舗閉鎖損失引当金繰入額	144,633
賃貸借契約解約損	119,159
その他	24,839
特別損失合計	932,455
税金等調整前四半期純利益	707,889
法人税、住民税及び事業税	125,501
法人税等調整額	△86
法人税等合計	125,415
四半期純利益	582,474

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成21年4月1日
至 平成21年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	707,889
減価償却費	1,323,710
支払利息	246,106
固定資産除却損	457,850
減損損失	185,971
売上債権の増減額 (△は増加)	△70,337
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△93,367
仕入債務の増減額 (△は減少)	177,420
その他	△257,871
小計	2,677,372
利息及び配当金の受取額	12,747
利息の支払額	△252,738
法人税等の支払額	△224,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,212,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,374,763
敷金及び保証金の差入による支出	△135,450
敷金及び保証金の回収による収入	524,030
その他	△170,661
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,156,845
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	2,552,000
短期借入金の返済による支出	△1,390,030
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△125,598
長期借入れによる収入	820,000
長期借入金の返済による支出	△2,868,926
自己株式の売却による収入	423,605
配当金の支払額	△301,032
その他	△16,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	△906,265
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	149,508
現金及び現金同等物の期首残高	3,257,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,407,322

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年11月17日開催の取締役会における自己株式の処分及び売出しに関する決議に基づき、自己株式の売出しを行いました。この結果、自己株式が803,204千円、資本剰余金が367,724千円それぞれ減少しております。